

11・13 佐藤訪米阻止、人事院勧告体制打破をめざし、  
院内労働者はストライキ斗争を斗い抜き、11・17スト  
ライキを駁場から創出せよ！  
医斗争庄毅機関＝文教経済委員会を粉碎しよう！  
機動隊常駐－事務官僚の検査体制粉碎！  
厚生学院生への学院当局集団リンチに抗議運動を  
まきおこせ！

### 11・5 市大病院労学評議会

労働者、教員諸君！

11月1日、市大病院労働者学生評議会のもとに結集した  
70数名の医員、看護婦、教員、無給医、青医連、学生  
等の、多職種、多階層が、11月4日、市庁をとりまく果  
敢反示モをかちとった。この斗いは、大阪市一長谷事務  
官僚制に包括された教授会一階層権力、医局講座右派教  
官によって、現在なされつつある暴力的近代化合理化の  
攻撃 つまり、看護婦にかけられた詰所統廃合、配転合  
理化、無給医、青連連に対する臨床研修医制度、登録医  
制度導入、学生、学院生に対する暴力的授業再開 等の  
一連の攻勢と弾圧が、大学立法の事実上の適用と、市民  
病院化、実体化に向けての病院の赤字を、看護婦を始め  
とする労働者にしわ寄せし、その一見、暴力性を隠蔽し  
て拡大教授会（まさに拡大権力支配機構である）に対する  
徹底した暴露と抵抗を、院内労働者学生の力によって  
行わねばならぬことを意志統一し、このようす弾圧をは  
ねのけ、労働強化、階層制導入に徹底的に反対し、市会  
文教経済委員会に先制的攻撃をかける、我々の最初の斗  
いであった。そして、我々を支持する人々は、院内に多  
数存在することが明らかにされ、11月4日労学評に結集  
した多数の示モ隊は、機動隊の弾圧に屈せず、戦斗的に  
文教経済委員会粉碎の示モを斗い抜いた！

労働者、教員諸君！

11月4日、医教授会は、学生に対し、屈辱的なバッジ制  
度を適用した。

9月30日以来、1ヶ月余の力をほしいまにした教  
授会（長谷一小谷体制）は、右派教官・学生、日共民青

を骨の髄まで利用して ロックアウトをしながら、今、  
何等の自己批判（教授達よ、お前達の自己批判とは、  
お前達がこの病院から追放されることなど）もせず、  
权力的居直りを続け、さんざん無償で労働力を収奪され  
た無給医が、人間的叫びを上げをとために、ロックアウトをいまだに続けるとは、いったい何なのか。

総婦長制解体を主張して斗った学院生に対し、教授会、  
事務屋、総婦長は、1人1人に対し、密室の肉体的精神  
的拷問をかけ、今後的一切の服従を約束する誓約書を強  
迫する一方、右派教官、学生には、これまで密室での黒  
い取り引き（教授の席、有給医の席とひきかえか？）を  
半公然とやっている。

これこそが、機動隊常駐－事務屋夫の検査体制に他なら  
ない。

この踏み絵検査体制こそが、医学部の本質を示している。  
体制の最先端に立つ外觀をもった医学部が、その裏、江  
戸キリシタン時代の弾圧方法をとっているのだ。

労働者、教員諸君！

文教経済委員会は、医斗争庄毅のための会議を5日から  
始めんとしている。東大斗争を庄毅した、二番茶番劇を  
再び大阪の地に於いて、予算云々でもって、斗争庄毅を  
席始しはじめた。

我々は、決して、議会主義者に斗争を託すのではなく、  
自らの戦場で斗争を明らかにせねばならない。

無給医、教員、労働者諸君！

11・13 病院早朝1時間半のストライキ权は、既に大巾  
(裏面に続く)